

第 69 回秋季広島県高等学校軟式野球大会
兼 第 36 回秋季中国地区高等学校軟式野球広島県予選大会要項

1. 名 称 第 69 回秋季広島県高等学校軟式野球大会
兼 第 36 回秋季中国地区高等学校軟式野球広島県予選大会
2. 主 催 (一財)広島県高等学校野球連盟
3. 後 援 広島県教育委員会、尾道市・呉市・三次市・府中市及び各市教育委員会
4. 期 日 令和 6 年 10 月 5 日 (土) ~ 10 月 13 日 (日)
1 回戦 5 日 (土) 2 回戦 6 日 (日)
準決勝 12 日 (土) 決 勝 13 日 (日)
< 予備日 19 日 (土) ・ 20 日 (日) >
5. 会 場 1 回戦 虹村公園野球場・カーター記念球場
2 回戦 虹村公園野球場・カーター記念球場
準決勝 しまなみ球場
決 勝 しまなみ球場
< 予備会場 上下運動公園野球場 他 >
6. 抽 選 会 令和 6 年 8 月 21 日 (水) 広島県立広島高校
7. 優勝旗返還式 前年度優勝校 (広島学院高校) の試合前に実施
8. 出 場 校 (一財) 広島県高等学校野球連盟軟式部加盟校
9. 試合規則 令和 6 年度公認野球規則、アマチュア野球内規、高校野球特別規則、広島県高等学校野球連盟試合細則及び注意事項による。
10. 試合方法 (1) トーナメント方式により行う。
(2) 得点差によるコールドゲームは 5 回以降 10 点、7 回以降 7 点差以上とする。ただし、決勝戦はコールドゲームを採用しない。
(3) 天候状態などで球審が試合の途中で打ち切りを命じた場合は、行われた回数に関係なく、翌日以降に勝敗を決する (通常は 9 回、延長戦ならびにタイブレークになった場合も含む) まで継続試合として試合を行う。
(4) 延長 10 回以降はタイブレーク制 (無死一塁・二塁の継続打順) を実施し、15 回を終了し決着していない場合はそのまま試合を続行する。ただし、1 人の投手が登板できるイニング数については 15 イニング以内を限度とする。
(5) 1 人の投手が投球できる総数は 1 週間 500 球以内とする。
(6) 照明施設がある球場では、ナイターを行うこともある。
(7) 日程変更のときは球場の変更もある。

11. 試合球 広島県高等学校野球連盟使用球（ケンコーボールのM号）
12. 選手資格 令和6年度大会参加者資格規定による。
13. 参加人数 責任教師・監督・記録員・選手 20名以内
14. 役員 (一財)広島県高等学校野球連盟軟式部役員
15. 審判委員 (一財)広島県高等学校野球連盟審判部審判委員
16. 表彰 優勝校には賞状・優勝旗、準優勝校に賞状を授与する。
(前年度優勝校にはレプリカを贈呈)
17. 申込参加 野球ネットに登録した野球選手在学証明書の資料と、プログラム用のエクセルデータを9月26日(木)までに事務局へメールで送信する。
18. 選手変更 変更がある場合「選手登録変更届」(データ)を10月3日(木)正午までに事務局へメールで送信する。公印を押した原本は試合日に持参し、メンバー交換時に提出する。背番号のみの変更は認めない。
19. 事務局 *加盟校周知済
20. その他
- (1) 出場選手の試合中の事故については、主催者で応急処置を行うが、それ以降は各学校の責任で措置すること。スタンドの関係者についても、注意喚起すること。
 - (2) メンバー交換は試合開始予定時刻の1時間前とし、責任教師は所定のオーダーシート5部を持参のうえ、主将及びテーピングが必要な選手を引率し、指定された場所で交換に立ち会う。第1試合は40分前とする。
 - (3) 責任教師・監督を変更する場合、申込先に変更届を提出すること。(試合当日も可)ただし、コピーを必ず試合会場に持参し、メンバー交換のときに提示すること。
 - (4) 試合球、投手用ロジンは連盟で準備する。バッターが使用するロジンは各校で準備・使用すること。
 - (5) グラウンド整備は5回終了時、9回終了時に延長戦がある場合のみで行う。ただし試合の進行上、省く場合もある。
 - (6) 第1試合のグラウンドづくりは第1試合に対戦する両チームで行う。
 - (7) 第1試合の大会補助員は第2試合の両チームで行う。第2試合は前の試合の2チームが試合終了後グラウンドを整備し、第2試合の大会補助員を行う。第2試合終了後の整備と片付けは第2試合の両チームで行う。
 - (8) 優勝校は11月2日(土)から岡山県倉敷市の倉敷マスカットスタジアムで開催する第36回中国地区高等学校軟式野球大会の参加権利を得る。